

2 年 表
(1994~2003)

年度	月	大気環境課	保健環境課	アクア研究課
H6 (1994)	4	環境庁第3次酸性雨調査を全国の国設大気観測局において実施。本市でも朝日ヶ丘国設観測局で自動採雨器により降雨水及び乾性降下物の調査	冷却塔のレジオネラ菌調査開始	アクア研究センター発足(初代篠原亮太所長)
	4	大気中の有機化合物の調査開始	厚生省委託「残留農薬簡易判定法開発」事業に参加	洞海湾調査総合報告書Ⅲ「生態系の主要生物群」発行
	4	悪臭防止法の一部改正に伴う排水水における規制基準の公布		市内のデパートで「洞海湾の野鳥たち」写真展開催
	5			GC/MSを用いた化学物質(300種)一斉分析法完成
	7			第1回アクア研究センター連絡会開催(以後、原則として年に3回開催)
	7			第1回アクア研究センター研究発表会開催(以後、毎年開催)
	8			九州工業大学との「汚泥研究会」開始
	10			洞海湾貧酸素水塊調査実施
	10			「海水を用いたリン回収装置」特許出願
	11			北九州市内の水環境中化学物質汚染実態調査開始
	12			建設省高度処理会議「再生水質検討小委員会」への参加(平成10年度まで)
	1			「北九州市環境科学研究所上・下水道施設利用に係わる民間企業との共同研究実施要領」施行
	3	悪臭防止法施工令の一部改正に伴うプロピオンアルデヒド等10物質の規制基準設定・告示		地下水安全性調査開始
H7 (1995)	4	乾性沈着に関する調査開始		建設省平成7年度新技術活用モデル事業「海水を利用したリン資源化技術の実用化研究」開始(北九州市下水道局・西原環境科学研究所・(財)下水道新技術推進機構の共同研究として平成8年度まで実施)
	5			山田緑地で過剰枝ガエルを発見
	6	悪臭物質等試料採取のマニュアル作成		高度処理MAC21の実験プラント穴生浄水場で稼働開始
	7			「下水処理水の工業用水化」アンケート調査実施
	8			第3回世界閉鎖性海域環境保全会議EMECS'95参加(ストックホルム市)
	11			「第4回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会」開催(事務局担当)
	1			北九州市・大連市環境交流セミナーへ職員を講師として派遣
	3			第30回日本水環境学会福岡市で開催、実行委員を委嘱され事務局応援
3			「海水を利用したリン資源化技術の実用化研究」中間報告書発行	

年度	月	大気環境課	保健環境課	アควア研究課
H7 (1995)	3			アควア研究センター調査研究等 長期指針策定検討会報告書「水を 活かすアควアポリス計画」発行
H8 (1996)	4		生ゴミから生分解性プラスチックを 生成する基礎的研究 (H8～13)	第2代鈴木學所長着任
	4			「北九州市環境科学研究所上・ 下水道施設利用に係わる民間企業 との共同研究実施要領」一部改正 下水道局水質管理課と下水道研 究係の合同調査研究報告会開催
	5	大気汚染防止法の改正 (有害 大気汚染物質対策、アスベ スト飛散防止等)		
	5	大気汚染防止法の改正による 地方自治体のモニタリングの モデルケースとして、環境庁 大気保全局から「有害大気汚 染物質モニタリング実証事 業」を受託		
	6			日本環境化学会「環境化学論文 賞」受賞 環境保全リーダー養成のための 実験学習講座「市民エコカレッ ジ」水質コース担当 (以後、平成 11年度の第5回まで担当)
	7～8			山田緑地管理委員会「カエル専 門委員会」発足 (検討委員として 研究に参画)
	9			「下水道施設における脱臭技術 セミナー」開催
	1			環境庁「外因性内分泌攪乱化学 物質問題に関する研究班」検討委 員を委嘱される
H9 (1997)	4		食品検査部門におけるGLP導入	
	6			海水化学研究所とシーバイオ共 同研究開始
	7			環境庁「外因性内分泌攪乱化学 物質問題に関する研究班中間報告 書」公表
	8	大気汚染防止法施行令の一部 改正 (ダイオキシン類の指定 物質への追加等)		
	9	ダイオキシン類の大気環境指 針値設定		
	10			「おいしい水の製造装置」特許出 願
	12			環境科学会1997年年会シンポジ ウム「閉鎖系水域の生態学的な環 境管理と修復—北九州市洞海湾を 例として—」北九州市で開催
1			本庁に「おいしい水の製造装置 「スーパー浄水アควア」設置 「スーパー浄水アควア」実働30 日のアンケート調査実施	
H10 (1998)	4	酸性降下物の樹木に与える影 響調査開始	内分泌かく乱物質の食品中含有量調 査開始	BiDESによる生物脱臭実験開始
	4		室内環境の化学物質調査開始	
	6			炭酸ガスによる加温浮上濃縮実 験 (ベンチスケール屋外) 開始

年度	月	大気環境課	保健環境課	アクア研究課
H10 (1998)	7	環境大気中ダイオキシン類調査開始		「下水道展'98」及び「第35回下水道研究発表会北九州市」で開催（日明浄化センターで「海水を利用したリン資源化技術の実用化研究」実験施設見学受入れ） 洞海湾窒素・りん24時間特別調査実施（昭和46年以來27年ぶり） 「北九州市における外因性内分泌攪乱科学物質の野生生物に与える影響に関する検討委員会（略称：環境ホルモン北九州委員会）」発足（検討委員及び作業部会長として研究に参画）
	8			
	8			
	9		電子顕微鏡による食品中の異物観察事例集作成（CD-ROM版）	
	10		P F G E 機の購入 エコー30型による無菌性髄膜炎の流行	「'98特許流通フェアin九州」（通商産業省特許庁及び九州通商産業局主催）に出展（「おいしい水製造装置」、「海水を用いたリン回収装置」）（以後原則として毎年出展）
	11			下水処理水の工業用水化（凝集+砂ろ過前処理）実験プラント皇后崎浄化センター内に竣工 「日本水環境学会九州支部第1回学術賞」受賞
	1			環境省山田緑地を対象に環境ホルモン及びダイオキシン類を調査
	1			形態異常ガエルの原因究明に関する北米調査
2			若松区栄盛川でのシロウオ産卵調査実施（平成11年4月まで）	
3		二酸化鉛法による硫酸化物濃度調査終了		
H11 (1999)	4	LC/MSを用いた分析法開発開始	新感染症予防法施行にともないサーベイランス定点の見直しとW I S Hでの報告開始	廃棄物研究開始
	4		九州12機関によるパルスネット開始	下水処理水の工業用水化研究でUF膜前処理実験開始
	4			周防灘海域総合調査春季調査実施（以後、7、10、1月にも実施）
	6			「水を活かすアクアポリス計画—中期計画」の策定
	6			高効率浄水処理実験（ACT21）実証プラント本城浄水場で稼働開始
	7	ダイオキシン類対策特別措置法の公布		
	9			
	11			「下水汚泥の炭酸ガスによる加温浮上濃縮法」国内特許取得 第4回世界閉鎖性海域環境保全会議EMECS'99参加（トルコ アンタルヤ市）
	12			廃棄物処分場リハビリテーション実証実験プラント竣工
	12			「海水又は淡水の浄化方法」国内特許取得
2			「セレンイオン及びヒ素イオンの除去剤とその利用」特許出願	
3		ダイオキシン類分析・検査実験室を整備		
H12 (2000)	4	降下ばいじん調査地点を市内19カ所から10カ所に変更	市内流通カキのSRSV調査	BiDESによる生物脱臭実験報告会の開催
	4	ダイオキシン類分析業務開始		

年度	月	大気環境課	保健環境課	アクア研究課
H12 (2000)	6			第9回環境化学討論会で「日本環境化学会学術賞」受賞 「下水道施設からの地球温暖化ガス排出状況調査」開始 「消化ガスによる加温加圧浮上濃縮法」特許出願 下水処理水の工業用水化研究でMF膜と浸漬型セラミック膜前処理実験開始 酸化チタンを用いた光分解実証モデル装置の設置と稼動（本城浄水場） 建設局内に設置された「下水道政策検討委員会（「下水道技術研究会」と「下水道経営委員会」からなる）の「下水道技術研究会」のワーキンググループ活動に参加 次世代廃棄物処理技術開発実験プラント竣工
	6			
	7			
	7			
	9			
	1			
H13 (2001)	4	大気汚染に係る環境基準の追加の告示（ジクロロメタン）		九州工業大学大学院生命体工学研究科との連携講座「環境精密計測講座」開始（客員教授2名、助教1名） メタン発酵による下水汚泥の資源化研究開始（文部科学省科学技術振興調整費による生活・社会基盤研究のうちの生活者ニーズ対応研究「都市ゴミの高付加価値資源化による生活排水・廃棄物処理システムの構築」の第2班「汚泥を含む有機廃棄物の石油製品化」において「有機廃棄物のメタン発酵によるプロセスエネルギーの供給」を分担）（平成15年度まで） 下水処理水の工業用水化研究で内圧型セラミック膜前処理実験開始 Asian Waterqual 2001開催（福岡市）実行委員派遣 第4回「日本水環境学会シンポジウム」北九州市（九州国際大学）で開催（事務局となる） 第23回下水道技術開発連絡会議（座長：国土交通省都市・地域整備局下水道部下水道事業調整官、事務局：（財）下水道新技術推進機構研究第一部）北九州市で開催 「ガスクロマトグラフ/質量分析装置における汎用多成分一斉同定・定量方法」特許出願 「下水道政策委員会」の提言（10月発表）に基き設置された「下水道改善推進会議」のワーキンググループ活動に参加 WOWシステム研究会響灘共同実験場開所（響灘共同実証実験エリア内） ムラサキガイを用いた水質浄化実証施設洞海湾に竣工
	4			
	4			
	5	酸性雨調査終了		
	6		遺伝子組換え食品の検査開始 ウイルス性肝炎対策の一環としてC型肝炎の検査実施	
	9			
	9			
	10		バイオテロ模倣事件で炭素菌の検査実施	
	11		高齢者福祉施設におけるレジオネラ属菌汚染調査（H13～14）	
	12			
	12			
	1			

年度	月	大気環境課	保健環境課	アクア研究課
H13 (2001)	2			酸化チタン光分解実証モデル装置に太陽光発電装置を付加
H14 (2002)	4		食品中アレルギー物質に関する調査開始	内分泌攪乱化学物質問題に関する日韓共同研究に参加
	5		バンコマイシン耐性腸球菌による病院内感染事例の調査(5~12月)	特許「海水又は淡水の浄化方法」について民間企業と特許権実施許諾契約
	6		中国産ほうれん草中の農薬クロルピリホの検査実施	洞海湾環境修復施設魚類(24時間ビオトープ)調査実施
	6		性感染症(梅毒、性器クラミジア症)検査開始	
	7			山田緑地管理委員会「カエル専門委員会」報告書完成
	8			ムラサキイガイの陸揚げ回収作業及び剪定チップとの混合肥料化試験開始
	8			ムラサキイガイの赤潮海水浄化実験実施
	9		無登録農薬カブタホ、シキリ等の検査実施	
	9		シュークリームでの <i>Salmonella enteritidis</i> による大規模食中毒事件の調査	
	11			イケチョウガイ 頼田貯水池で飼育実験開始
	12	ダイオキシン類に係る大気関係強化排出基準の適用		海面埋地安定化促進技術評価プラント竣工
1		厚生労働省の「食品添加物一日摂取量調査」に当研究所も参加		
2		厚生労働省の「残留農薬等分析法検討会」に構成メンバーとして参加	「有明海・八代海総合調査評価委員会」(両海域の環境保全及び改善、並びに水産資源の回復を図るため国及び関係県が行う調査結果に基づく両海域の評価と主務大臣への意見具申を行う)の委員を委嘱される	
3			第3回「世界水フォーラム」(「水に関するワークショップin大阪」)に出展	
3			「第37回日本水環境学会年会」開催(熊本市)実行委員派遣	
3			「北九州市における外因性内分泌攪乱化学物質の野生生物に与える影響に関する検討委員会」最終報告書完成	
H15 (2003)	8			アクア研究センター10周年記念シンポジウム開催
	8			「北九州市水際線利用協議会」委員を市港湾局から委嘱される(平成17年3月まで)
	10		「北九州市食品の安全に関する庁内連絡会議設置要綱」制定 当研究所保健環境課長が当該会議の構成メンバーとして参加	「海水を用いたリン回収装置」特許取得
	10			第1回「港湾環境修復技術開発検討会」の開催(港湾局との共同研究)
11			「日本水処理生物学会第40回大会」実行委員を委嘱され事務局応援	

年度	月	大気環境課	保健環境課	アクア研究課
H15 (2003)	12			「北九州市自然環境保全基本計画策定に係るワークショップ」のオブザーバーを市環境局から委嘱される
	1			「全国環境研協議会会長賞」受賞
	1			「GC/MSを用いた汎用多成分一斉同定・定量データベース」Ver.1完成
	2			「日本水環境学会」九州支部研究発表会北九州市で開催（事務局となる）
	2			「日本水環境学会九州支部第6回学術賞」受賞
	3		アジアにおけるSARSの流行にともなう国内対策としてLAMP法機器整備	第2回九州工業大学国際環境フォーラム「生ゴミ革命」（ひびきの学術研究都市で開催）において、文部科学省科学技術振興調整費による生活・社会基盤研究「都市ゴミの高付加価値資源化による生活廃水・廃棄物処理システムの構築」の成果を研究代表者の白井義人九州工業大学大学院教授が発表